

数学教員養成プログラム

■数学（中学1種、高等学校2種）

数学教員に必須の代数学、解析学、幾何学といった数学の専門科目を重点的に学びます。単に数学の知識を修得するだけでなく、数学の深い世界に触れ、その楽しさや面白さを自ら理解し、数学の魅力を伝える資質を磨きます。数学を学ぶと同時に、全人教育の理念を実践すべく、知識だけでなく全方位的にバランスのとれた教員を目指します。そのため、1年次の春学期から「解析学1」を履修できるなどのカリキュラムの違いがあります。

ダブル免許プログラムで、中学校・高等学校教諭に加えて小学校教諭2種免許状も併せて取得可能です。（ダブル免許プログラムの利用には、入学後一定の成績を満たし、学部の選抜を経ることが条件となります。また通信課程で学ぶ諸費用が別途かかります。）

『教職課程受講ガイド』をよく読んで履修してください。

■教育職員免許状の登録に関する規定

第2セメスター終了時	<ul style="list-style-type: none"> ① 累積GPAが2.30以上であること ② 総合判断で、教職課程受講継続を許可されていること
第4セメスター終了時	<ul style="list-style-type: none"> ① 累積GPAが2.30以上であること ② 数学検定2級以上に合格していること ③ 総合判断で、教職課程受講継続を許可されていること
第6セメスター終了時	<ul style="list-style-type: none"> ① 下記科目をすべて履修していること 「教職概論」「教育原理」「学習・発達論」「数学科指導法Ⅰ」「数学科指導法Ⅱ」（ただし、「工業科指導法Ⅰ・Ⅱ」は除く） ② 事前指導で「P」を取得していること ③ 総合判断で、教職課程受講継続を許可されていること

ただし、第2セメスター終了時に上記規定を満たさなかった学生のうち、次のものは第4セメスター終了時に再判定を受けられる。

- ① 第4セメスター中に、教職担当に再判定希望を申し出る。
- ② 累積GPAが2.30以上であること
- ③ 数学検定2級以上に合格していること
- ④ 総合判断で、教職課程受講継続を許可されること

※2年次からの編入生は上記規定と異なる場合もある（3年次以降からの編入生は教職課程受講不可）